

舞踏家・今貂子による身体ワークショップ

生きていることと踊ること

2023年11月27日[月]・28日[火] 15時30分〜17時30分(両日)

慶應義塾高等学校日吉協育棟 日吉協育ホール

おどる身体は、変幻し、時空を超える。

若き日、舞踏の「破調の美」に衝撃を受け、舞踏家を志した。いつしか、芸能の源流にみられる古代の「たまふり(命の活性化)」の力を探求し、現代のアヴァンギャルドな舞踏の中に蘇らせることをめざした。

舞踏は、命を湛え、精神を高らかにうたう肉体の真実を出発点に、始原の芸術の力を現代に引出し、未生の未来を拓いていく。現代に人が生きていくために発明されたものだと私は考える。

日々、舞踏は新しい。心から心に、身体から身体に、その日の舞踏とともに実感したいと思います。 今 貂子

対象 | 塾生(大学生、大学院生、一貫教育校生)、教職員

参加定員 | 30名(最大)申し込み制

見学 | 塾生・教職員の見学は自由です

申込方法 | 以下のURLよりお申し込みください。
申込者多数の場合選考を行い、結果をお知らせいたします。

<https://forms.gle/8RtF9EeihLTHWanFA>



申込締切 | 2023年10月31日(火)

PROFILE

今 貂子(いまだんこ) 舞踏家 振付家 今貂子舞踏研究所/舞踏カンパニー倚羅座 主宰
'58年群馬県生まれ。'80年-'94年白虎社に参加。海外及び国内公演に出演、また、衣裳デザイン製作を担当。'00年ワークショップを母胎に舞踏カンパニー倚羅座結成。'07-'16年旧五條菜園歌舞練場にて連続公演。'16年KYOTO舞踏館「秘色」ロングラン上演開始(現在休演中)。'19年還暦記念「闇の艶」公演(先斗町歌舞練場)。'20年「金剛石-Diamond-」公演(UrBANGUILD)にて、令和2年度文化庁芸術祭優秀賞受賞。以降'21年「愛ノ嵐」、'22年「彗星」を上演しコロナ三部作として結実。'21年映像作家飯名尚人との共同プロジェクト「おんなのぼくしさん」開始。23年11月、舞踏カンパニー倚羅座公演「瑠璃杯(るりのつき)」開催予定。
日本の芸能の源流にみられる「たまふり(命の活性化)」の力に支えられたアヴァンギャルドな舞踏の探求を通じ、独自の境地を開拓。京都を拠点に国際的に活動を展開している。

◎本企画は録画され教養研究目的に限って利用されることがあります。

◎Tシャツ・ジャージなど体を動かしやすい服装で参加してください。更衣室を用意します。

主催：慶應義塾大学教養研究センター／(担当)小菅隼人(慶應義塾大学理工学部教授)

共催：慶應義塾高等学校／(担当)古川晴彦(慶應義塾高等学校国語科教諭)

協力：ポートフォリオ BUTOH (慶應義塾大学アート・センター)

お問い合わせ：toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

本事業は、2023年度日吉教育活動等支援予算プロジェクト事業によるものです。